

文-43

しか...否定

N	しか	Vません
---	----	------

基 本

例 文

- ① この町まちにはホテルが一つひとしかありません。
- ② 東京とうきょうから大阪おおさかまで3時間じかんしかかかりませんでした。
- ③ さいふなかの中に500円えんしかありません。
- ④ きのう、サンドイッチたしか食べませんでした。
- ⑤ これは日本にほんでしかか買うことができません。
- ⑥ 田中たなかさんしかき来ませんでした。

解 説

- A. 「しか」は、否定形ひていけいといっしょつかに使う。
- B. 「しか」は、数量すうりょう、程度ていど、範囲はんい、対象たいしやうなどを示すNしめの後あとについて、Nを限定げんていし、強調きやうちやうする。

(例文①～⑥)

- C. ほかの助詞じょしといっしょつかに使うことができる。(例文④⑤⑥)

Nに/へ/で/と/から/まで Nにしか/へしか/でしか/としか/からしか/までしか
Nは/が/を(対象)たいしやう Nしか

先生へ

「しか」は助詞。

ひと ひとつのことがらをきわだたせて強調するときを使う。(例文①④⑤)

はな て きたい そうてい はん げんてい の つか はな て きたい そうてい
話し手の期待、想定に反して限定されることがらを述べる时候を使う。話し手の期待、想定がどう

であるかによって、話し手の気持ちを暗示することがある。(例文②③⑥)

たと れいぶん ② では はな て はな て おも れいぶん ③ では はな て かね
例えば、例文②では、話し手はもっとかかると思っていた、例文③では、話し手はもっとお金が

はい おも れいぶん ⑥ では はな て たなか いがい ひと く おも
入っていると思っていた、例文⑥では、話し手は田中さん以外の人も来ると思っていた。

「だけ...肯定」で言い換えた場合は、話し手の感情は表れにくい。

【関連項目】

助-24 だけ

【「れんしゅう編」の練習】

12-10 かさじぞう